

令和4年度学校自己評価システムシート (県立鳩ヶ谷高等学校)

目指す学校像	総合制高校として3学科の特色を生かし、生徒一人ひとりが主体的に学ぶ力を育成する学校
--------	---

重点目標	1 生徒が実感できる確かな学力の向上 2 生徒一人ひとりの将来を見据えた進路指導の推進 3 メリハリのある生徒指導の徹底 4 地域との交流を深め、信頼される学校づくりの推進
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局 (教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目 (年度達成目標を意味する。) は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)		実 施 日	令 和 年 月 日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	教員の授業改善・ICT活用により生徒の学力向上の兆しが見えている。 コロナ禍に対応したICT機器を活用した授業や理解を深めるオンライン授業等に対応するため、更なる教員のスキル向上を目指す。	生徒が実感できる学力の向上	①年次研修や授業公開週間を活用し、教員間の授業研究・授業改善に取り組む。 ②ICTを活用した授業の実践、コロナ禍によるオンライン授業、動画配信等、リモートによる学習保障に取り組む。 ③業者テストや外部模試から学習状況を把握し生徒の学力を伸ばさせる。 ④各種資格取得を目指し、補習やサポートに取り組む、更に受験者の合格率を向上させる。	①他の教員の授業参観2回以上したか。 ②授業に満足している生徒、保護者80%以上、授業に集中している生徒85%以上、テスト前以外に1時間以上家庭学習している生徒30%以上。 ③外部模試のデータを蓄積・分析して指導に活用できたか。外部模試を1.2年は、3回以上実施したか。 ④各種検定受験者数や合格者が増加したか。また、上級資格に挑戦した生徒が増えたか。				
2	進路多様校として様々な生徒への進路保証を行っている。 生涯を見通したキャリア教育を実施し、生徒が主体的に進路を考える必要がある。 一般・公募・学校推薦試験に対応した大学進学に対応をする。	生徒一人ひとりの生涯を見据えた進路指導の推進	①進路に対する意識向上を図り、進路決定率を向上させる。 ②進路希望別 (朝、放課後、長期休業中) の補習や進路ガイダンス、小論文指導、分野別ガイダンス等を実施し、きめ細やかな進路指導を行う。 ③1年生から段階的・計画的な進路指導に取り組み、早期から生徒の進路への意識向上を図る。 ④総合的な探究の時間等で、企業や外部の人材を積極的に活用し、社会で信頼され活躍できる生徒を育てる。	①進路決定率100%。 ②ガイダンスや補習などを行い進路指導に満足している保護者80%以上。 ③1.2年は進路意識が高まったか。3年は安易に進路を選ばず質の高い進路実現のために大学一般受験、総合型選抜受験者が増えたか。 ④外部講師を招いて、生徒・教員・保護者への啓発ができたか。				
3	8割以上の生徒が挨拶の習慣や正しい身だしなみが身についている。 交通安全の意識向上は課題である。 生徒の自己肯定感を高めるために部活動や学校行事等を更に活性化させる。	自律心をもって善し悪しを判断できる生徒指導の実施	①朝の挨拶・交通安全指導を継続し、自転車運転マナーや交通安全の意識向上に取り組む。 ②自律心をもち満足した学校生活をしている。 ③会議を精選することにより、教員の部活指導時間を確保し、指導を充実させる。	①登校指導を継続し遅刻件数年間1日3人以下。年間の交通事故件数は減少したか。 ②正しい身だしなみや言葉遣い挨拶に取り組んでいる生徒100%。学校生活に満足している生徒90%以上。 ③部活動加入している生徒90%以上、部活動に満足している生徒80%以上。				
4	地域との交流事業や発表により中学生や保護者の関心を高めることができている。 感染症拡大防止に配慮しつつ、地域との連携を深め、生徒の自発的な活動も推進させ、地域に信頼される学校づくりに取り組む。	地域連携を通して、生徒が活躍できる場の提供	①保護者等に学校の取組に協力を得る。 ②コロナ禍でできるPTA活動やボランティア活動等、地域との連携を深め、更なる広報活動の充実を図る。 ③生徒が自ら企画を立案し、自発的に学校行事に参加できる環境づくりとリーダーの育成に取り組む。 ④中学生や保護者の関心を高める学校説明会の実施。 ⑤学校の教育活動を積極的に生徒・保護者・地域に配信する。	①授業公開・体育祭・文化祭の保護者等の来場者が増加したか。 ②学校からの情報発信に満足している保護者90%以上、地域との交流の充実。 ③学校行事は充実していると感じる生徒、保護者80%以上。 ④学校説明会の中学生、保護者の参加者数の合計1,500名以上。 ⑤ホームページを月20回以上更新できたか。 メディアへの情報提供はできたか。				

学校関係者からの意見・要望・評価等